



第433号

2023年4月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

「神からの賜物(A G I F T)を感謝し、新しい時代へ」
教区聖年 (2022.2.13 ~ 2023.5.28) 聖霊降臨の主日
教区設立100周年

教区ホームページ

福音のひびき

4月の説教者

- 2日 受難の主日 椎尾 匡文 (高蔵寺教会)
- 9日 復活の主日 鄭 有喆 (押切・小牧・守山)
- 16日 復活節第2主日 傍島義雄 (新司祭)
- 23日 復活節第3主日 スサント・プリヨ (江南教会)
- 30日 復活節第4主日 ウルフリード・リンガマ・クロメン (新助祭)

栄国寺・殉教者祭 受け継がれる福音と信仰

藩主・光友の苦悩も思う



松浦司教と若松住職が並んで献花



栄国寺の若松住職

名古屋教区殉教者祭が2月4日、名古屋市中区橋の栄国寺で3年ぶりに行われ、およそ70人が集まった。キリシタン顕彰碑前でささげられたミサは、松浦司教と5人の司祭が共同司式をした。

松浦司教はあいさつで、「この地にまかれた福音の種は、先人たちの深い信仰と宣教の熱意によって、激しい迫害の時代を乗り越え、450年後の今日まで受け継がれてきました」と「名古屋教区100周年の祈り」の言葉を引用し、「命をささげた殉教者の信仰は今に受け継がれている」と述べた。

追害、暴力、分断の現代世界の中で、私たちがためらうことなく人々の平和のために歩んでいく力を神に願った。東京カトリック神学院で神学生の養成に携わっている浅井太郎神父がミサの説教を行い、今日までの教区殉教者祭の経緯を話した。

名古屋教区殉教者祭が始まったのは1980年代半ばで、81年に来日した教皇ヨハネ・パウロ2世が日本の司教団に「日本にも殉教者がいるのだから何かしたら」と勧めたことがきっかけとなった。殉教地旅行などさまざまな試みが行われたが、いつの頃からか栄国寺での祈りが受け継がれていった。雪が舞っていても、寒くても、風が吹いても、「ここに集まる」とが証しになる」と説いた。

尾張と美濃のキリシタンは罪もなくただキリシタンという理由で処刑された。能登の海に、ユスト高山右近、光は今もや、金沢市内の足跡を訪ねる案内パンフ(英訳付き)を発行して来訪者に配布している。あわせて、藩置県前の明治初年、金沢に流配された長崎・浦上キリシタンの歴史を紹介する冊子も発行している。

栄国寺の本尊は元は犬山の薬師寺の大仏で、光友によって栄国寺に移された。大八車に乗せて、半日がかりで運んだという。寺には「切支丹遺蹟博物館」が併設されており、ミサの後に見学する人も多かった。

列聖へ願いを込めて

松浦司教と北陸3県の司祭が共同司式

福者ユスト高山右近殉教者の記念ミサが2月11日、金沢教会で行われた。2017年2月の列福式から6年、参列者は右近の次なる列聖を願い、心を一つに祈りを捧げた。ミサは松浦司教と北陸3県の司祭が共同司式で進められた。初めに松浦司教が聖堂に安置してある右近の聖遺物に献香して、遺徳をしのいだ。

松浦司教は説教で、右近の生涯は、洗礼を受けたあと、領地の没収、放浪、フィリピンへの追放と、忍耐の連続であったと紹介。「それでも信仰は揺らぐことがなく、殺されはしなかったものの苦難の人生そのものが殉教であり、その生き方は私たちに大きなヒントを与えてくれる」と語った。共同祈願では、右近の取り次ぎを求めて世界の



写真上=高山右近の聖遺物に献香する松浦司教、下=司教と北陸ブロック司祭団との共同司式



平和と福音化を願い、合わせて右近の列聖を求め祈りを唱えた。閉祭で金沢教会オリジナルの高山右近讃歌「光は今も」が同教会聖歌隊によって歌われた。ミサには金沢教会をはじめ約70人の信徒が集い、名古屋から信徒協関係者も参列した。ミサの

模様がインターネットのYouTubeにライブ配信された。映像は金沢教会または名古屋教区のホームページにアクセスすれば視聴できる。金沢教会は右近の生涯と信仰の道を広く紹介する冊子「加賀の野に

能登の海に、ユスト高山右近、光は今もや、金沢市内の足跡を訪ねる案内パンフ(英訳付き)を発行して来訪者に配布している。あわせて、藩置県前の明治初年、金沢に流配された長崎・浦上キリシタンの歴史を紹介する冊子も発行している。

栄国寺の本尊は元は犬山の薬師寺の大仏で、光友によって栄国寺に移された。大八車に乗せて、半日がかりで運んだという。寺には「切支丹遺蹟博物館」が併設されており、ミサの後に見学する人も多かった。

聖香油ミサのご案内

キリストによる司祭職の制定を記念する聖香油ミサでは、教区で働くすべての司祭が集まって司教と共同司式をし、ミサの中で司教に対する約束の更新を行い、また、司教による聖香油の聖別、洗礼志願者の油と病者の油の祝福が行われ、ともに祈ります。

名古屋教区では毎年、司祭、修道者のダイヤモンド金銀祝をお祝いしますが、今年もこの聖香油ミサと合わせて行われます。

また、終身助祭への養成を受けている候補者の「朗読奉仕者」選任式も併せ行うことになりました。朗読奉仕者とは、教会の宣教に協力する任務を受けた者で、神のこぼしを告げる人です。具体的にはミサにおける第一、第二朗読を行うことのできる公の奉仕者です。小教区で当番などの形で行っている朗読奉仕は、じつは主任司祭の任命による臨時的奉仕者とされています。

日時 4月5日(水) 午前10時30分 会場 布池教会大聖堂
主司式 ミカエル松浦司教
*公共交通機関でお越しください。

名古屋教区100周年閉幕行事

オペラ公演「忘れられた少年 天正遺欧少年使節」

「今から約400年前、当時、13歳前後だった4人の少年使節についての物語です。彼らは、ローマ教皇に会うために、実に8年半もかけて世界中を旅しました。欧州では大歓迎を受けさまざまな体験をした彼らが、帰国して待っていたものは、秀吉による禁教令でした。このオペラでは、彼らの壮絶な信仰のたたかいが優しく力強く歌われます」(松浦司教)

詳細は、小教区配布のチラシをご覧ください。
日時 5月27日(土) 午後1時30分開場、2時開演
会場 カトリック布池教会大聖堂
上演 NPO法人東京オペラ協会
入場料 無料(要・教会での事前申込み。当日、カンパをお願いします)
入場券 各小教区単位で取りまとめ、あらかじめファクスかメールで申し込み、教区事務所で受け取る(火・木 早川助祭)。郵送希望の場合はその旨申し出る。
定員・締切 定員400人。5月11日または定員になり次第しめきり。
申込先 ファクス 052-935-2254 メール k.hayakawa@nagoya.catholic.jp
主催 カトリック名古屋教区
後援 キリシタン文化伝承プロジェクト



2023年 司祭叙階金銀祝 該当者

- ダイヤモンド祝 平澤忠雄(名古屋教区) クネヒト・ペトロ(神言会)
- 金銀祝 寺尾總一郎(名古屋教区) 小川満(フランシスコ会)
- 銀祝 早川努(名古屋教区) スサイザビエル・アマール(神言会)
- ダイヤモンド祝 滝元すが子(ドミニコ会) 聖ヨゼフ修道院
- 小笠原トシ(聖霊会) 林博子(聖霊会) 尾崎恵(聖霊会) 宮人キワ子(聖霊会)
- 金銀祝 井上洋子(聖マリアの無原罪教育修道会) 玉腰久美子(聖マリアの無原罪教育修道会) アンヘレス・ガトン(聖マリアの無原罪教育修道会)
- 銀祝 宮城弘美(聖霊会) 三好千春(援助修道会) 伊藤晶(聖霊会)



援助修道会

援助修道会は、正式名称を「煉獄援助修道会」といい、1856年に福者み真理のマリア(ウージェニー・スメット)によって、パリで創立されました。

1935年に4名の会員が広島に到着し、託児所を開いたのが日本での活動の始まりです。原爆により広島修道院は全焼しましたが修道女たちは全員助かりましたので、8月7日以降、イエズス会の司祭たちと共に被爆し

た人々の看護に当たりました。

戦後、会は日本各地において日本社会の必要に応える形で老人ホームや幼稚園などの事業を行っていましたが、80年代以降は次第にそれらを譲渡していき、会員各自がいただいている賜物に従って、小教区での宣教師牧霊的同伴、ホームレス・精神障害者・知的障害者・滞日外国人・難民といった人々への支援、幼稚園から神学校・大学までの教育など、多様な使徒職

に従事するようになりました。

名古屋教区には、2006年に会員の一人、シスター三好千春が南山大学の専任教員として働くことになったことが契機で来名しました。一時期は名古屋で働く会員も増え小教区司牧その他に従事していましたが、23年現在は再び三好1名となつています。

会の目的は「神のいつそう大きな栄光のために、死を通過して清めを受けつつある人々におい

てイエス・キリストが果たしておられる解放の業に、余すところなく自己を奉獻すること」(会憲12条)ですが、これには、先に述べたような多様な使徒職への献身が含まれます。それは、会のカリスマの中核にある「聖徒の交わり」が、生者と死者との間の連帯と共に、この地上に生きている人々との連帯へと会員を招くからです。援助修道会の会員はすべての人が「創造された目的に達するまで手伝う」ことを使命としており、その精神に従って、今後も名古屋教区での福音宣教にささやかながらも協力していきたいと願っています。

松浦司教は3月7日、新型コロナウイルスに関する新しい方針「新型コロナウイルス対策について(17)」を発表し、全小教区にファクスで通達した。マスクの着用を基本的に任意とし、ミサでの参加人数制限をなくし、教会活動をできるだけ再開するようにと呼びかけた。

感染はまだ続いているものの、ワクチンや治療によって状況が改善し「ウイズ・コロナ」が

定着してきたこと、マスクの着用が個人の判断に任せられ、さらに新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが2類から5類に引き下げられるなどの政府方針の変更に伴うもの。

ただし、体調不良時には教会に出来ない、感染状況悪化時にはそれに対応するようにと、慎重さが求められることは変わらない。

「対策について(17)」全文は以下の通り。

コロナ対策緩和

マスク着用自由

2023年3月7日

教区司教 松浦悟郎

新型コロナウイルス対策について (17)

教区の皆さま

+ 主の平和

新型コロナウイルス感染対策は4年目に入ることになりました。感染は未だに続いているとは言え、この3年の間にワクチンや治療に関して少しずつ状況は改善し、「ウイズ・コロナ」が定着してきました。

こうした中、政府は2023年5月8日より、新型コロナウイルスを5類へ引き下げる方針であること、また、新型コロナ対策としてのマスクの着用について、政府は、3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しました。さらに学校教育の現場では、新学期となる4月1日から着用を求めないことを基本とするほか、それに先だつて行われる卒業式は、その教育的意義を考慮し、児童・生徒などは着用せずに出席することを基本とするとしています。

名古屋教区としては上記の政府方針に基づき、以下のようにコロナ対策を緩和したいと思います。ただし、コロナは終息したわけではなく、教会には高齢者も多いので、発熱している方、体調不良がある場合等は教会に来るのを控えてください。尚、感染状況の急激な悪化や国や自治体の新たな要請が出た場合には、それに従った対策をとるようにして下さい。

記

1. 換気を良くすることを前提に、基本的にはマスク着用は任意(自由)とします。
 - ① ミサでの司式者と全信徒の交唱、歌も可能です。ただし、特に全員で歌う場合には換気状況や混み具合(密)に配慮した対策を臨機応変にとってください。
 - ② 聖体拝領時の一人一人の消毒は必要ありませんが、口での拝領は避けて下さい。
 - ③ 司式者もマスク着用は任意ですが、感謝の祭儀からは、祭壇上のホスチアの入ったチボリウム・カリスにはパラを置くようにするか、マスクを着用するようにして下さい。
2. ミサでの参加人数制限はありません。ただし、通常の定員を超えるような密は避けるようにしましょう。換気が難しかったり、思いがけなく定員を超えて人が多く集まった場合には、マスク着用をお願いするか、全員で歌うことを避けるなどの対策をとるようにして下さい。
3. 教会活動もできるだけ再開します。病人、高齢者訪問については、病院、施設、家族の了解を得てから行って下さい。

以上、教区基本方針を基本とし、3月19日(日)より小教区の状況を考慮しながら、実施して下さい。

えいごで聖句ドリル

Blessed are those who (ア) and (イ).
見ないのに信じる人は、幸いである。(ヨハネ20・29)

Q. ア、イに入るのは次のうちどれ?

- ① do not see ② have not seen ③ did not see
- ④ believe ⑤ have believed ⑥ believed

(英語は New American Bible、日本語は新共同訳聖書によります)

えいごで聖句ドリル解答

A=② イ=⑤

復活節第2主日(4月16日)の福音から、イエスが復活したとの仲間の証言をかたくに信じようとしなすイエスの言葉です。現在完了形であることを強調すると「今に至るまでずっと見たことがなかったのに、信じるに至った人々は幸い」とでも訳せるでしょうか。「Blessed are ...」は、有名な山上の説教の八つの幸いと同一表現です。「Blessed are the poor in spirit」「心の貧しい人々は幸いである」(マタイ5・3)

聖地のための献金

聖金曜日(4月7日)

14世紀中頃、教皇クレメン6世は、パレスチナ各地の巡礼所とヨーロッパからの巡礼者保護をフランシスコ会に委託した。その後、政情不安な聖地で苦勞している修道者たちを支えるために行われるようになった献金は、いつの頃からか、主の受難と死を記念する聖金曜日にささげられるようになった。そして教皇レオ13世は1887年、カトリック教会のすべての小教区にこの聖地のための献金を命じた。

全世界の教会からローマ教皇庁に集められる献金は、現在、イスラエル、ヨルダン、キプロス、パレスチナ自治区内にある数多くの巡礼所や聖堂などの維持管理に充てられるほか、聖地の貧しい兄弟姉妹のための福祉施設や教育施設の運営、奨学金や生活保護などの資金として使われている。

世界召命祈願の日

復活節第4主日(4月30日)

神はすべての人が誠実に自分の生涯を送るよう招いている(召命)。ある人は、社会の中のさまざまな職場の労働者として、またある人は、夫婦、親、兄弟姉妹としてよい家庭を築くように、そしてある人は、神と人々に仕える司祭、助祭、修道者となるように招かれている。

神の招きはどのように人それぞれだが、自分に対する神の望みを祈りのうちに探していくことが大切なことだ。「世界召命祈願の日」には、とくに司祭、修道者への招きに一人でも多くの人が応えることができるように祈りをささげる。

この日は、聖パウロ6世教皇によって1964年に制定された。

正義と平和委員会学習会 基地沖繩の人々は

岸田政権による大軍拡によって、今の日本は戦争のできる国にまっしぐらとなっている。

最新線である沖繩の人々は先の大戦と同じく「捨て石」にされるのではないかと戦慄している。

名古屋教区正義と平和委員会は1月21日に学習会を開き、講師に沖繩在住の憲法学者・小林武志

分(沖繩の日本への強制併合)以来、沖繩県は明治政府によって日本化が進められ、1945年4月1日には米軍上陸と同時に発せられた「ニミツツ布告」によって日本帝国の統治権の停止が宣言された。沖繩戦では県民の4分の1、約12万人が犠牲となった。

52年4月にはサンフランシスコ講和条約により日本は沖繩を米国施政権下に置いたまま独立を果たした。沖繩は日本国憲法から切り離され、人権の保障されない状況が続いた。

「新たな建議書」(22年5月)は、憲法を尊重せず民主主義と地方自治に目を塞いで沖繩の民意に耳をかさない本土政府をきびしく糾弾し、辺野古新基地建設は断じて許さな

ても実態調査ができないブラックボックス化。(2)「安保3文書」は日本と沖繩をどこへ導くか。ウクライナ侵略を奇貨として一気に戦争国家へ進んだ。

の戦略的な一体化を促す。「防衛力整備計画」は、自衛隊の部隊や装備、経費などを5年間で計画する。昨年12月に岸田政権が敵基地攻撃能力を明記した安保3文書を閣議決定した。

2. いま、沖繩の問うもの(1) 以下のような問題を解決するには「日米地位協定」の抜本的改定が喫緊の課題だが、国はこの要請に背きつつけている。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

予算大幅増」という従来の安保政策からの大転換を図るもの。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

▼「平和を愛する諸国民」の世論によりウクライナに平和を回復し、世界の平和を再建するために貢献する。特に、アジアに平和の枠組みをつくり出す。

映画「ノートルダム 炎の大聖堂」



4月7日(金)より
109シネマズ名古屋ほか全国公開

公式サイト
<https://notredame-movie.com>

【配給】
STAR CHANNEL MOVIES

©2022 PATHÉ FILMS - TF1 FILMS
PRODUCTION - WILDSIDE - REPÉRAGE -
VENDÔME PRODUCTION

2019年4月15日、フランス・パリのノートルダム大聖堂に大規模火災が発生した。翌日には鎮火したが、尖塔などが焼け落ちてしまった。「ノートルダム(われらが貴婦人)」=聖母マリアのこと=として市民に愛されたパリ大司教座聖堂はユネスコの文化遺産でもあり、2013年に着工850年を祝ったことが人々の記憶にまだ新しかった。世界中に伝えられた火災の映像は見る者の胸を痛めずにはおかなかった。

さいわい死者を一人も出さなかった現場で、消防士たちは大聖堂と聖遺物と自分たちの命のいずれをも諦めなかった。大聖堂の外に集まった人々が心を合わせて祈るアヴェ・マリアの歌声が響く中、決死の突入を試みようとする消防士の「私は大聖堂をよく知っています。そして愛しています」という言葉が聴く者の心を震わせる。

実際に大規模セットを炎上させての撮影とVFX(視覚効果)の融合により実現した現実感・臨場感には圧倒される。

上映劇場(いずれも4月7日(金)公開予定)

予定は変更となる場合があります。鑑賞前に劇場に確認をお勧めします。

石川	ユニテッド・シネマ金沢	0570-783-071
愛知	109シネマズ名古屋	0570-052-109
愛知	イオンシネマ名古屋茶屋	052-309-4610
愛知	ユニテッド・シネマ豊橋18	0570-783-668
愛知	ユニテッド・シネマ岡崎	0570-783-669
愛知	ユニテッド・シネマ稲沢	0570-783-125
愛知	ユニテッド・シネマ阿久比	0570-783-135

ラビリンスメディテーション シヨンのよろこび

布池教会 林 磨美

八事聖霊修道院で2月のラビリンスメディテーションに参加しました。毎回参加者にラビリンスメディテーションの歴史や背景、教会でどのように行われてきたかの解説があります。

歩いていると鳥たちが歌って、つい「ごらんよ空の鳥を口ずさんだり、カラスが合の手を打つかのように鳴くので、思わず吹き出したり。鳥がどこにいるのか分からなかったけど、とても楽しく歩きました。

に気がついて、「これって自分の考え方も同じかもしれない。人はいかに見たいものしか見ず、聞きたいものしか聞いていないんだらう」と、体験をもって味わえる時間になります。



政権は今、戦争責任を果たさないまま、戦後責任を負うことになる加害行為に踏み出そうとして

憲法を現行のまま守り抜くことは、平和の中で国民の生命と人間の尊厳を確保することを意味する。

子どもと孫さらにすべての将来の人々にこの「宝物」を贈ることは、今を生きる私たちが果たすべき責務である。

聖霊修道院主催 ラビリンスメディテーション

2023年-2024年ラビリンスメディテーション予定

日 時 原則、第4土曜日。12月は第3土曜日。
13:30~16:30

- ①4月22日 ②5月27日 ③6月24日
- ④7月22日 ⑤8月26日 ⑥9月23日
- ⑦10月28日 ⑧11月25日 ⑨12月16日(第3)
- ⑩1月27日 ⑪2月24日 ⑫3月23日

場 所 聖霊ミッションセンター
名古屋市昭和区八事本町1
地下鉄名城線八事日赤病院駅①番出口を出て右へ。すぐの角を右折。次の角も右折。信号を左折して門へ。徒歩5分。

参加費 200円
問合せ 聖霊修道院 電話 052-832-0434

(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日

4月の教会暦

- 2日(日) 受難の主日(枝の主日)
6日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
7日(金) 聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎)
8日(土) 聖土曜日
9日(日) 復活の主日(祭)
16日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
23日(日) 復活節第3主日
25日(火) 聖マルコ福音記者(祝)
29日(土) 祝聖カタリナ(シエナ) おとめ教会博士(記)
30日(日) 復活節第4主日
世界召命祈願の日

5月の主な教会暦(主日・祭日など)

- 7日(日) 復活節第5主日
14日(日) 復活節第6主日
世界広報の日(献金)
21日(日) 主の昇天(祭)
28日(日) 聖霊降臨の主日(祭)
教区聖年閉幕

教区行事予定 (* 松浦司教)

- 4月
5日(水) 聖香油ミサ*
ダイヤモンド金銀祝*
終身助祭候補者の朗読奉仕者選任式*
8日(土) 信徒協役員会
11日(火) 樹の会
12日(水) カリタス福祉委員会

- 14日(金) 正義と平和委定例会
15日(土) 殉教者委定例会/レジオマリエ・名古屋クリア
16日(日) 愛岐B会議
18日(火) カトリック看護協会例会
20日(木) 教区顧問会*
22日(土) 典礼委員会コアミーティング
25日(火) 司祭評議会常任委員会*
29日(土) 殉教者祭(金沢卯辰山)
30日(日) 愛岐B兄弟の集い
3月号で、金沢・卯辰山の殉教者祭を4月30日(日)としましたが、29日(土)に訂正します。

5月

- 6日(土) 宣司評運委員会*
7日(日) 城東B会議
9日(火) 樹の会
6日(土) 難民移住移動者委員会
10日(水) カリタス福祉委員会
12日(金) 正義と平和委定例会・学習会
13日(土) 典礼委員会コアミーティング/殉教者委定例会/信徒協役員会
14日(日) 膳棚教会献堂60周年記念ミサ*
16日(火) カトリック看護協会例会
18日(木) 月集*
20日(土) レジオマリエ・名古屋クリア
21日(日) 一粒会委員総会
25日(木) 教区顧問会*
27日(土) 教区法人評議員会*
28日(日) 布池教会聖信式*
教区聖年閉幕ミサ*

教区行事以外の松浦司教予定

4月

- 13日(木) 常任司教委員会
27日(木) 社会司教委員会

5月

- 11日(木) 常任司教委員会
23日(火) 社会司教委員会

告知板

4月の炊き出し
木6日弁当、13日布池、20日聖霊・南山・樹の会、27日城北橋
金14日南山、21日布池、28日一宮

▼人事異動

松浦司教は3月2日と17日、主として小教区を担当する司祭の異動を発表した。移動日は基本的に復活祭後。一部の司祭は4月1日。〔〕内は前任地。略号は次の通り。SYD = 神言会、OCD = 男子蹴足カルメル修道会、CMF = クラレチアン会、CONV = コンベンツアル聖フランシスコ会、OFM = フランシスコ会、Z = 名古屋教区。

《愛岐ブロック》多治見 主任ス タニスワフ・ポウオムスキ(通称・スタン) SYD [長崎教区]
神言多治見修道院 竹谷基(半田)
《城東ブロック》平針 主任大海明 敏 SYD [五反城] 南山 助任ジ ヨナサン・レイ・オリヴェロス・ピリアコルタ(通称・ジヨナサン)

SYD [長崎教区]

《城北ブロック》五反城 主任アドリアヌス・レインゲレ・ハヨン(通称・アルデイ) SYD [多治見]

《城南ブロック》緑ヶ丘・鳴海 主任ヤマス・ジョゼップ CMF [布池] 助任シユエ・ルイ・ジュン(通称・ジュン) CMF [東京教区]

《八熊》主任平田豊彦 Z [八熊・緑ヶ丘兼任] 東海・長浦 主任フェルディナール・バカリサ・ファミニアラガオ(通称・フェルディ) SYD 助任ロナウド・アウヴェス・オリヴェイラ(通称ロナウド) SYD [多治見] 日比野 主任志村武 OCD [東京教区] 港 助任チャーリー・ボムセノ OSA [長崎教区] 半田 小教区管理者サンティアゴ・エドガルド SYD [管区長兼任]

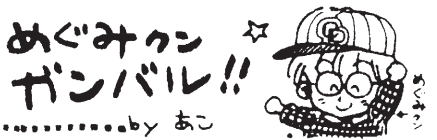
《北陸ブロック》富山地区(全小教区) 主任小川満 OFM 助任オディロン 金一(通称・オディロン) SYD [東京教区] 協力片岡義博 Z

◎教区外へ《東京教区》古川利雅 OCD [日比野] 長谷川潤 OFM [富山地区] 森智宏 SYD [南山] トラン・ナム・フォン SYD [南山]

《新潟教区》イグナシウス・クリステリアヌス・バサ(通称・インセン) SYD [平針] 《長崎教区》大川好洋 SYD [長浦]

▼ワールドユースデー(WYD)リスボン大会日本公式巡礼団の募集が始まる カトリック中央協議会ホームペー ジをご覧ください。

若者たちが世界の仲間と出会い、キリストと出会いますように!



めぐみかん ギンバル!! by あこ
最近発見したモノニツ 遺品の片付けで 父の引き出しから 古い宝物が出て来た

昔々 結婚前の 父が 母に宛てた 胸熱の恋文 ひっそりとも ずつとそつとそつと

昔々 はるばる海を越えて 遠く地の果てまで ザビエルが大切に 運んできた キリストの復活の栄光 ひっそりとも ずつとそつとそつと

いや... 手放さなかつたのは 私ではなく神 そつと 私はずつと 神の引き出しの 中にいたんだ 今もいつもこれからも 世々とこしえに アレルヤ!

建設費の返済に協力を 654件 34,877,185円 目標額 40,000,000円 (2月28日現在) 達成率 約87.1%

名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」

第16回総会・講演会

日時 5月20日(土) 13時30分~15時
会場 カトリック膳棚教会パウロ館
(名古屋市営地下鉄桜通線「瑞穂運動場西」駅1番出口 徒歩2分)
※公共交通機関をご利用ください

予定
総会 13時30分~14時 (13時受付)
講演会 14時10分~15時 (13時40分受付)
テーマ 「人との関わりの中で生かされて」
講師 河村公子さん
(名古屋教区難民移住移動者委員会事務局・稲沢教会信徒・いのちの電話にも長年関わる)

会費・参加費 無料(難民支援献金あり)
その他 講演会参加は男女を問いません。ミニバザーあり。
連絡先 樹の会事務局
電話 090-7024-9626 金森

教区正義と平和委員会4月勉強会のお知らせ

テーマ「腸内フローラへの食品添加物や残留農薬の影響について」

腸内環境や腸内細菌叢への注目が集まっています。特に、脳腸連環として、腸内環境が、ヒトの脳の活動に影響を与えることが明らかになり、うつや発達障害などの人の症状にも腸内環境が何らかの影響を与えていることが世界的に報告されています。/このように中で、食品に含まれる食品添加物や残留農薬が、腸内環境や腸内細菌叢に影響を与えているのではないかと懸念が広がっています。(小倉正行「腸内フローラに影響」しんぶん赤旗2023年1月15日付より)

講師 河田昌東 (分子生物学者)
とき 4月14日(金) 10:45~12:00
ところ 福信館
問合せ 教区正義と平和委員会 電話 052-935-7180

ウクライナ戦争被災者支援クラウドファンディングにご協力を

愛の実行運動本部は、日本カトリック障害者連絡協議会と共に、ウクライナの戦争被災者、病人、高齢者、障害者、子ども、女性への支援活動のため、クラウドファンディングを立ち上げた。クラウドファンディングとは、インターネットを介して不特定多数から少額ずつでも広く資金を募る仕組みのこと。今回は募集期間が3月13日(月)~6月12日(月)。目標金額500万円。集まった基金はカリタスウクライナや駐日ウクライナ大使館とも連絡を取り合っ、とくに防寒用品の購入に使いたいとしている。

くわしくは、こちらから➡

https://congrant.com/project/ainojikkouundo/6231



問合せ 愛の実行運動本部 電話 052-838-5340 (下村)
電話 052-852-1426 (村上)
Eメール: ainojikkouundo@gmail.com
主催 愛の実行運動本部 / 共催 日本カトリック障害者連絡協議会
後援 DPI 日本会議・全国自立生活センター協議会・社会福祉法人 AJU 自立の家